



2023年3月期第3四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2023年2月

2023年3月期第3四半期 業績の概要

2023年3月期第3四半期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 純利益
2023年3月期 第3四半期	37,945 (9.7%)	2,054 (0.7%)	1,971 (△8.2%)	1,444 (△36.3%)	74.08円
2022年3月期 第3四半期	34,576 (17.7%)	2,040 (119.6%)	2,147 (115.0%)	2,269 (261.6%)	116.34円

売上

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調でありましたが、急激な原材料や資源価格の上昇および半導体等の部材不足を要因として射出成形機需要が低下したものの、大型機や特殊機の営業を強化したこと等から売上高は前年同四半期比9.7%増の379億4千5百万円となりました。

利益

- ・ 部材価格の上昇等の影響もあり営業利益は20億5千4百万円(前年同四半期比0.7%増)、経常利益は為替差損(3億5千1百万円)を計上したこと等から19億7千1百万円(前年同四半期比8.2%減)、これらの結果、四半期純利益は14億4千4百万円(同36.3%減)となりました。

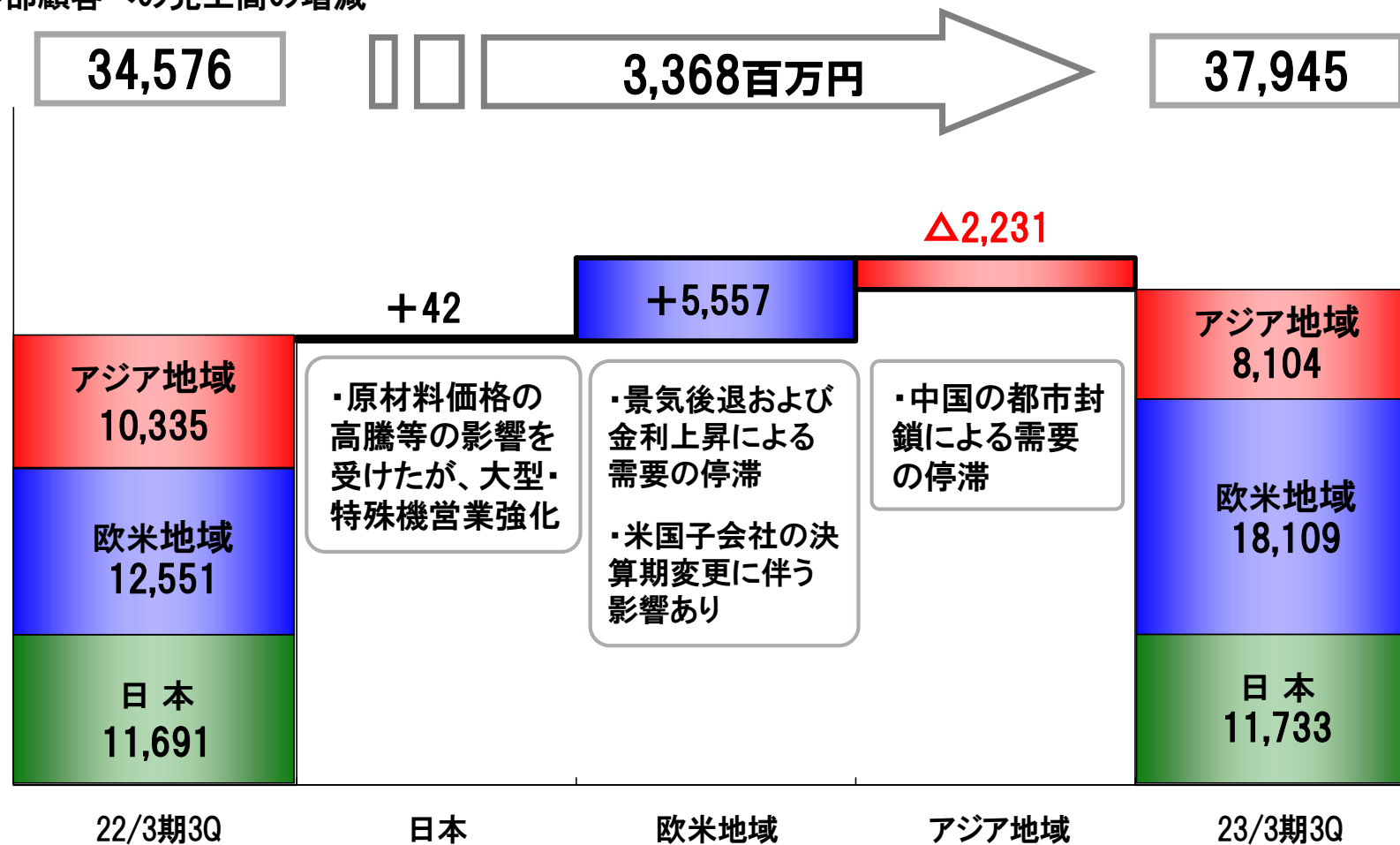
連結業績概要【前年同期比】

単位：百万円、比率%

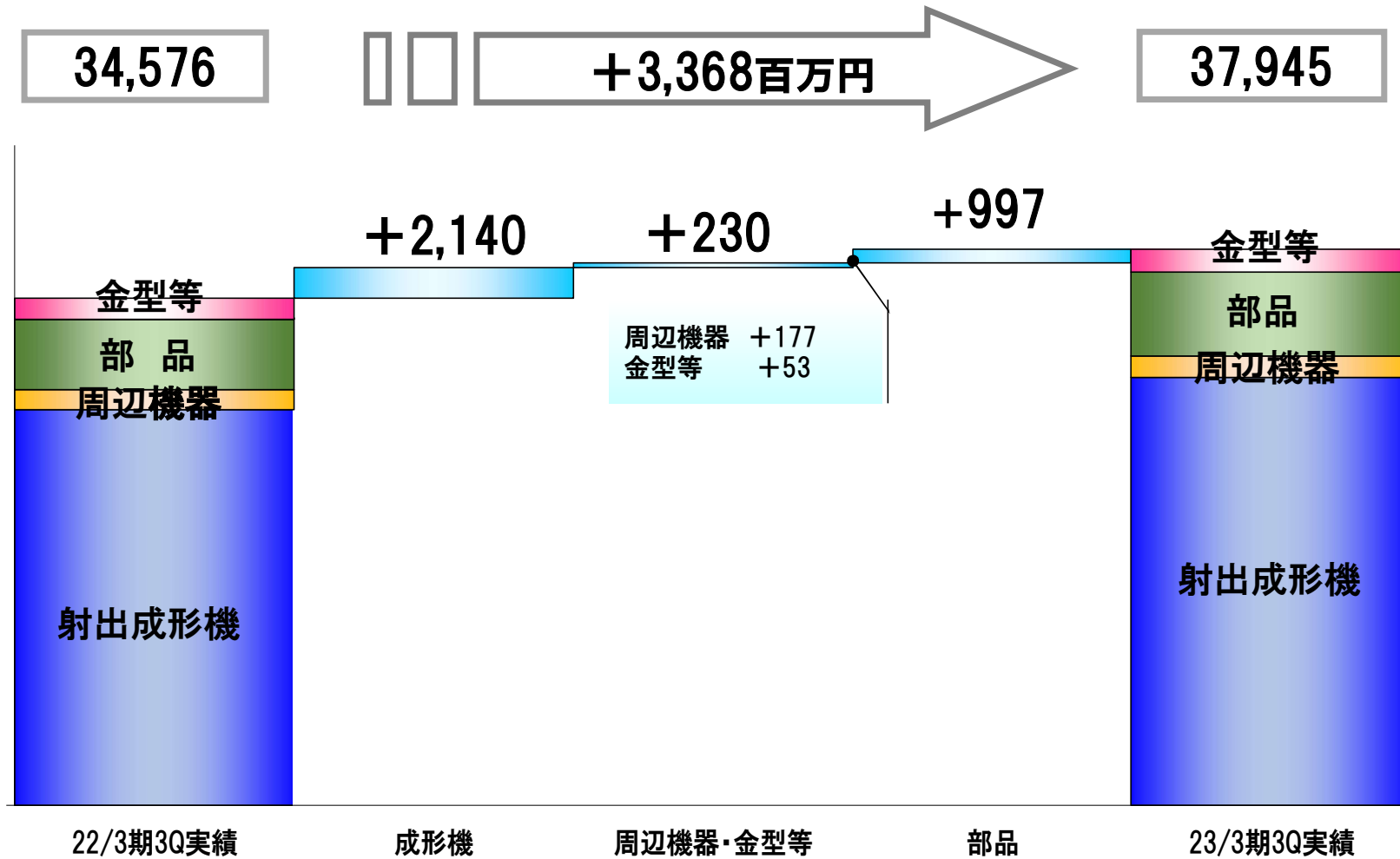
	2022年3月期 第3四半期実績	2023年3月期 第3四半期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	26,997	29,138	2,140	7.9
周辺機器	1,317	1,495	177	13.5
部品	4,782	5,779	997	20.8
金型・中古機等	1,478	1,531	53	3.6
売上高合計	34,576	37,945	3,368	9.7
売上総利益	10,542	12,054	1,511	14.3
一般管理販売費	8,502	9,999	1,497	17.6
営業利益	2,040	2,054	14	0.7
経常利益	2,147	1,971	△176	△8.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,269	1,444	△824	△36.3

連結売上高(セグメント別)増減 [2022/3期3Q⇒2023/3期3Q]

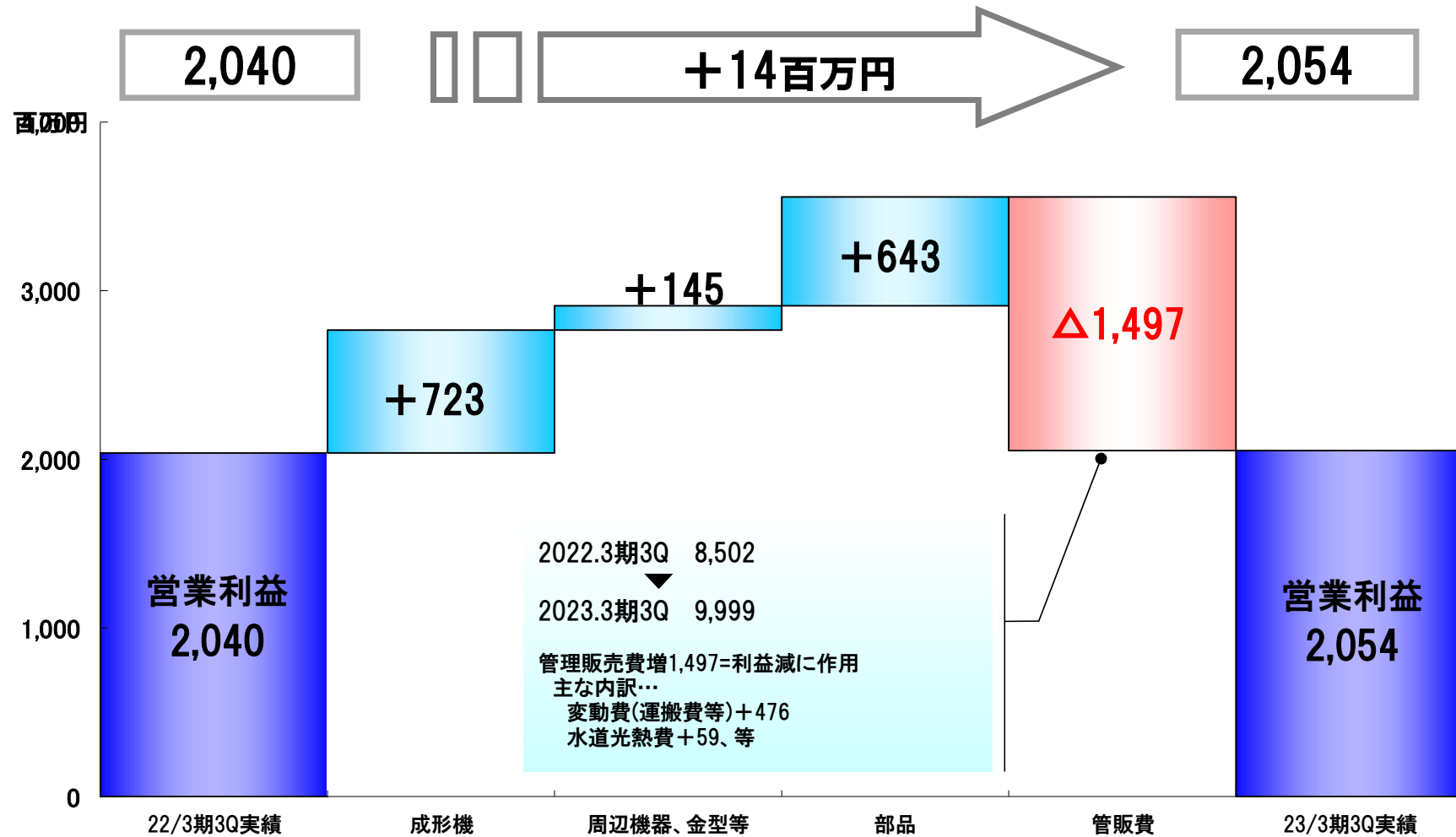
外部顧客への売上高の増減



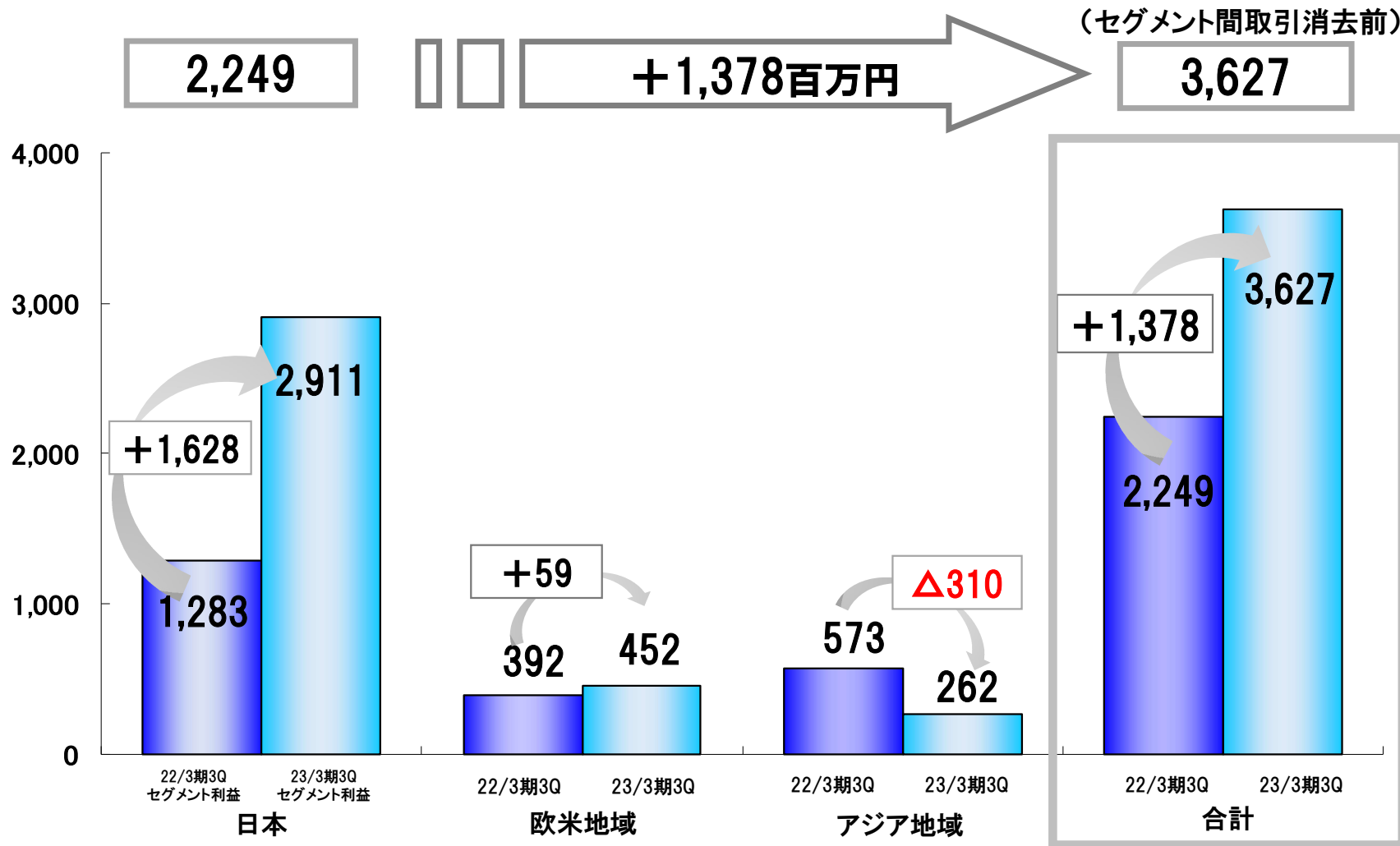
連結売上高(製品別)増減 [2022/3期3Q⇒2023/3期3Q]



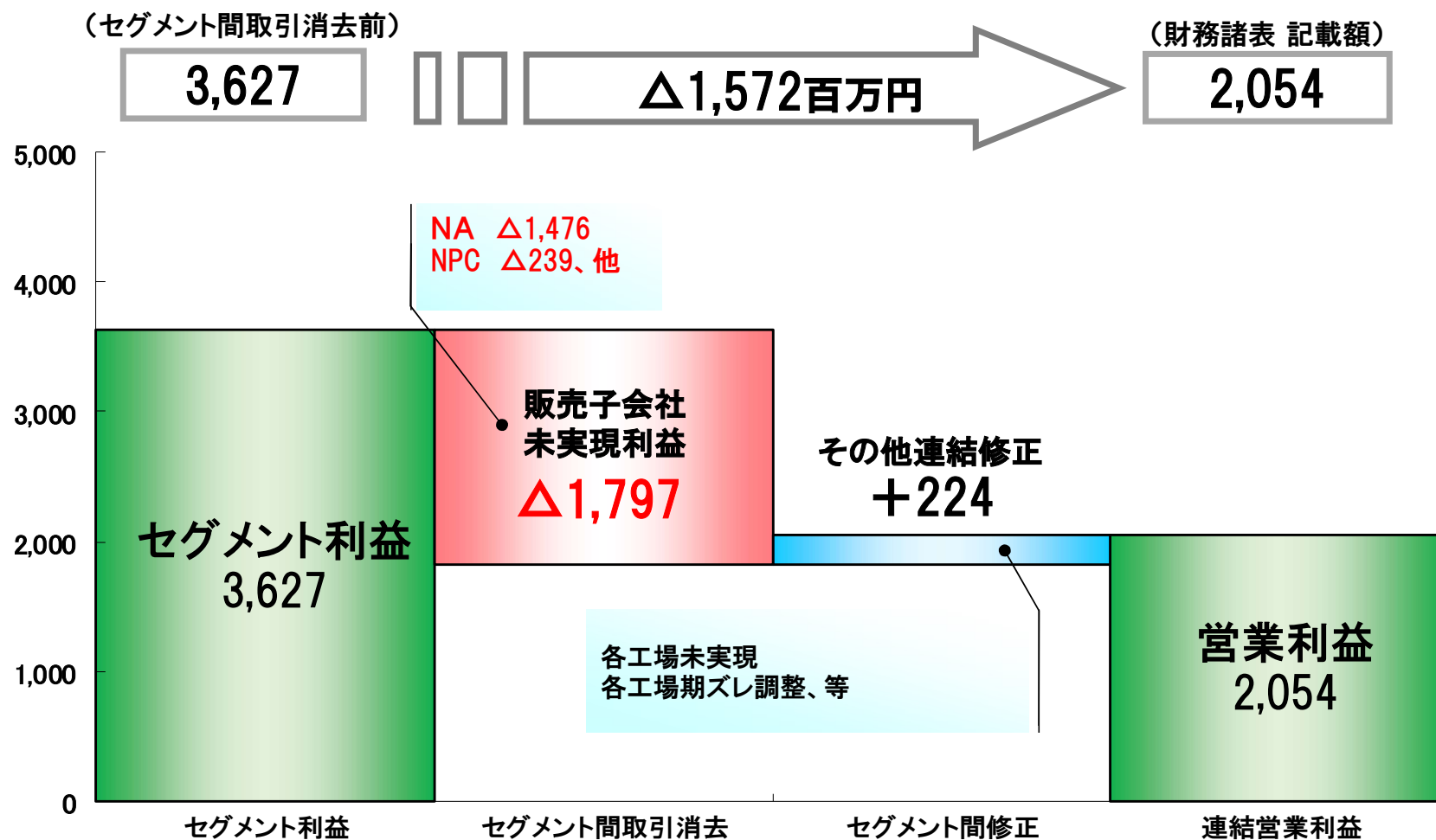
連結営業利益(製品別)増減 [2022/3期3Q⇒2023/3期3Q]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2022/3期3Q⇒2023/3期3Q]

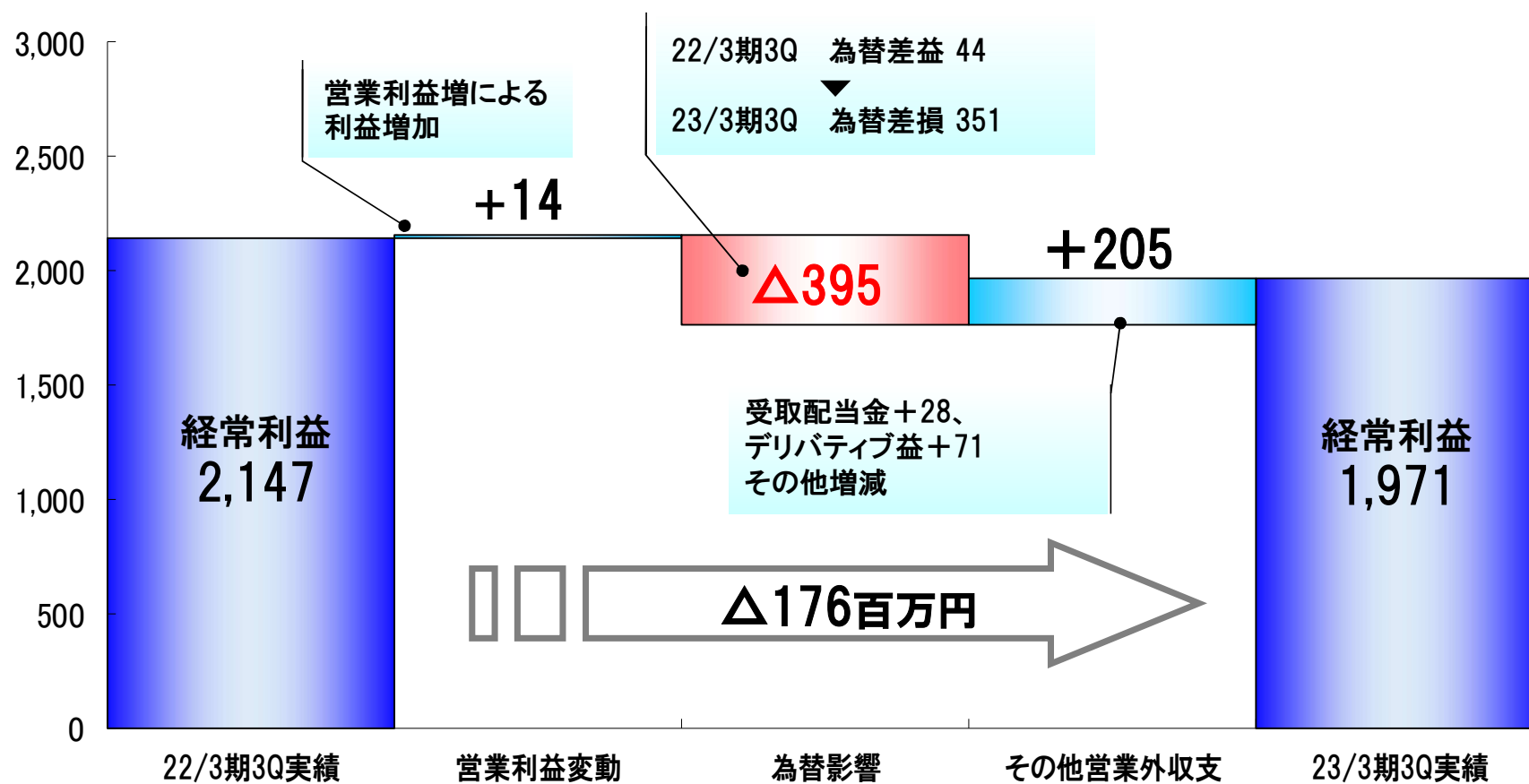


連結営業利益 ～セグメント間取引消去

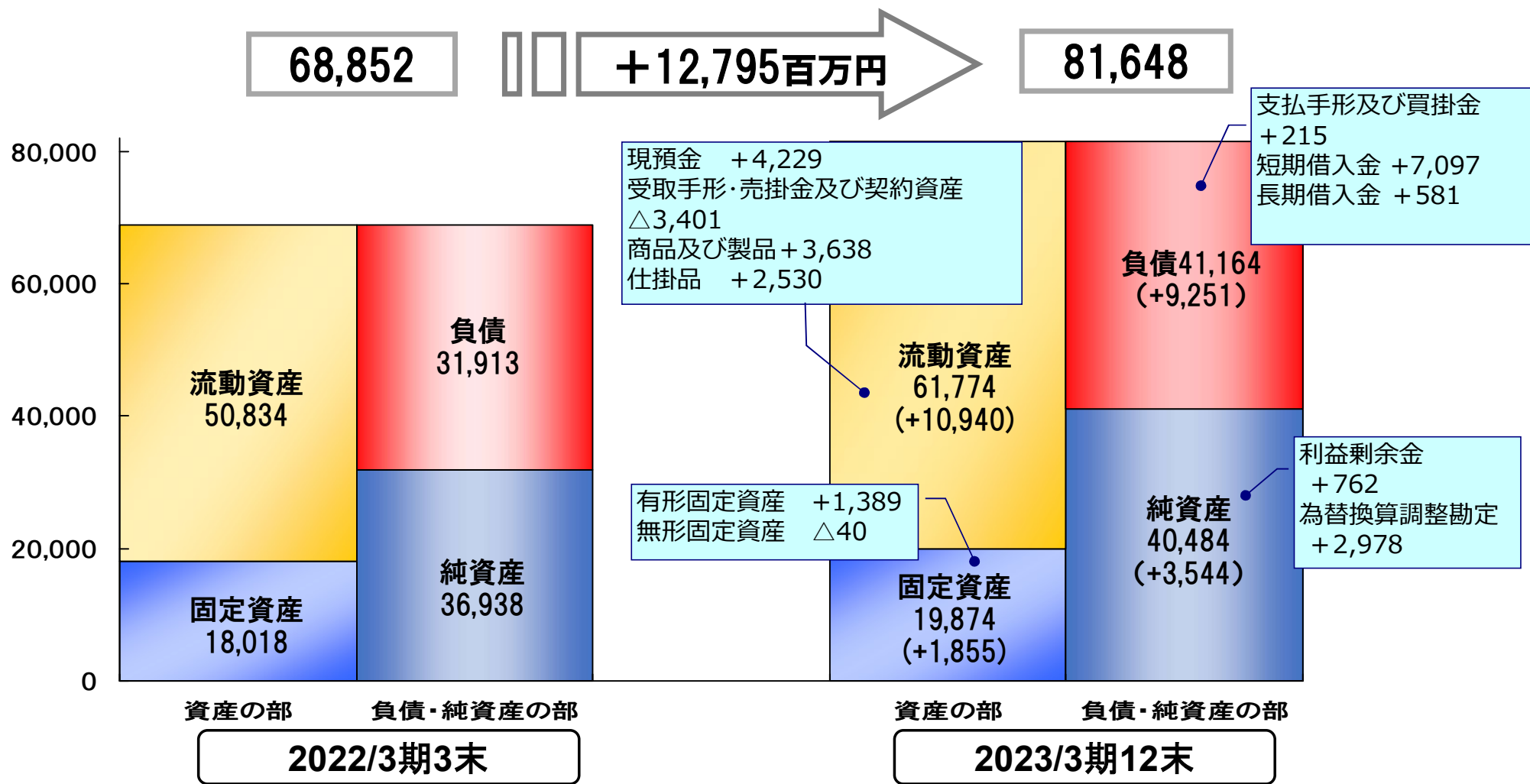


連結経常利益の増減 [2022/3期3Q⇒2023/3期3Q]

\$円レート: 期初 ¥ 122.39 ⇒ 12/末 ¥ 132.70
 元円レート: 1/初 ¥ 18.06 ⇒ 9/末 ¥ 20.37



連結貸借対照表の増減 [2022/3期3末⇒2023/3期12末]

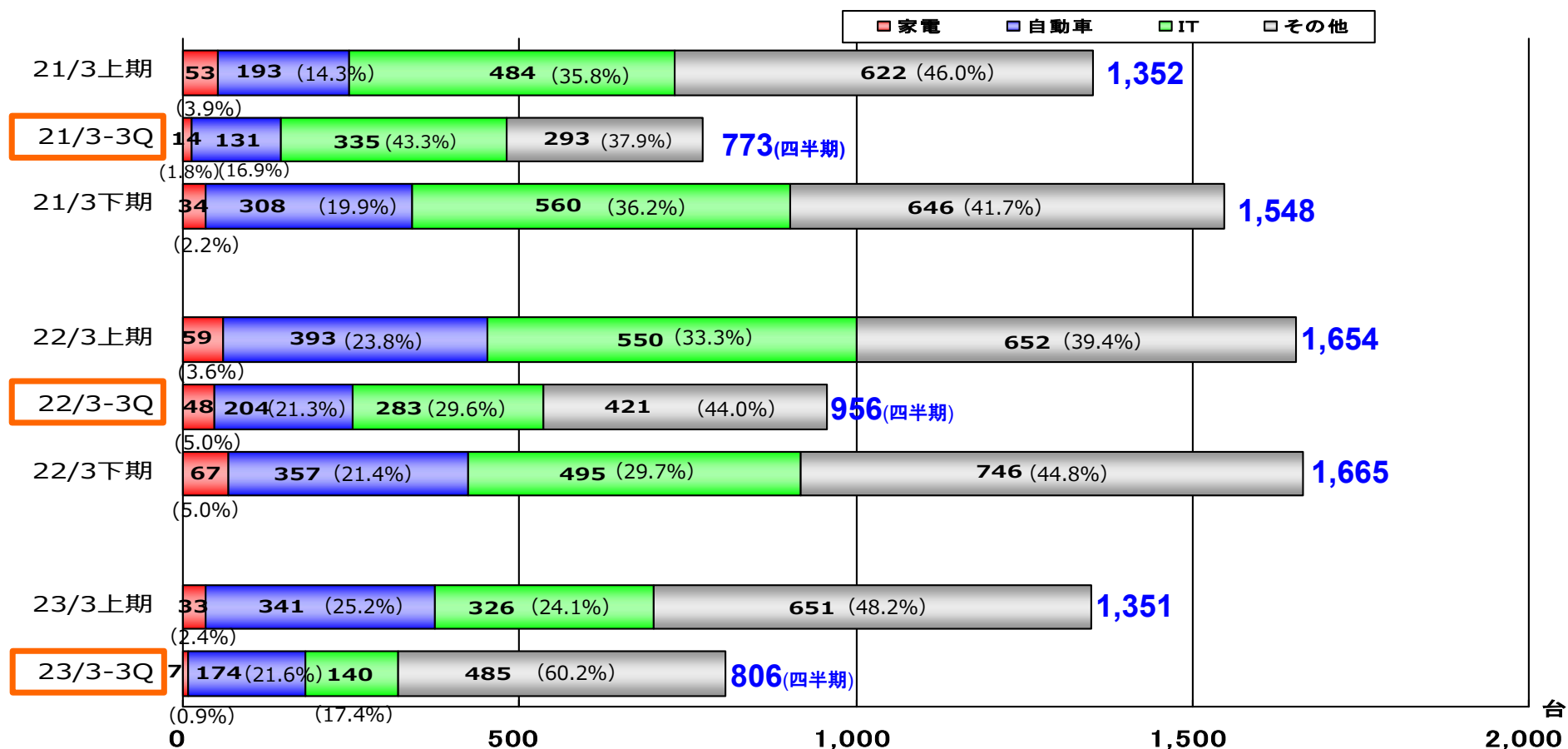


射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2023/3期3Q

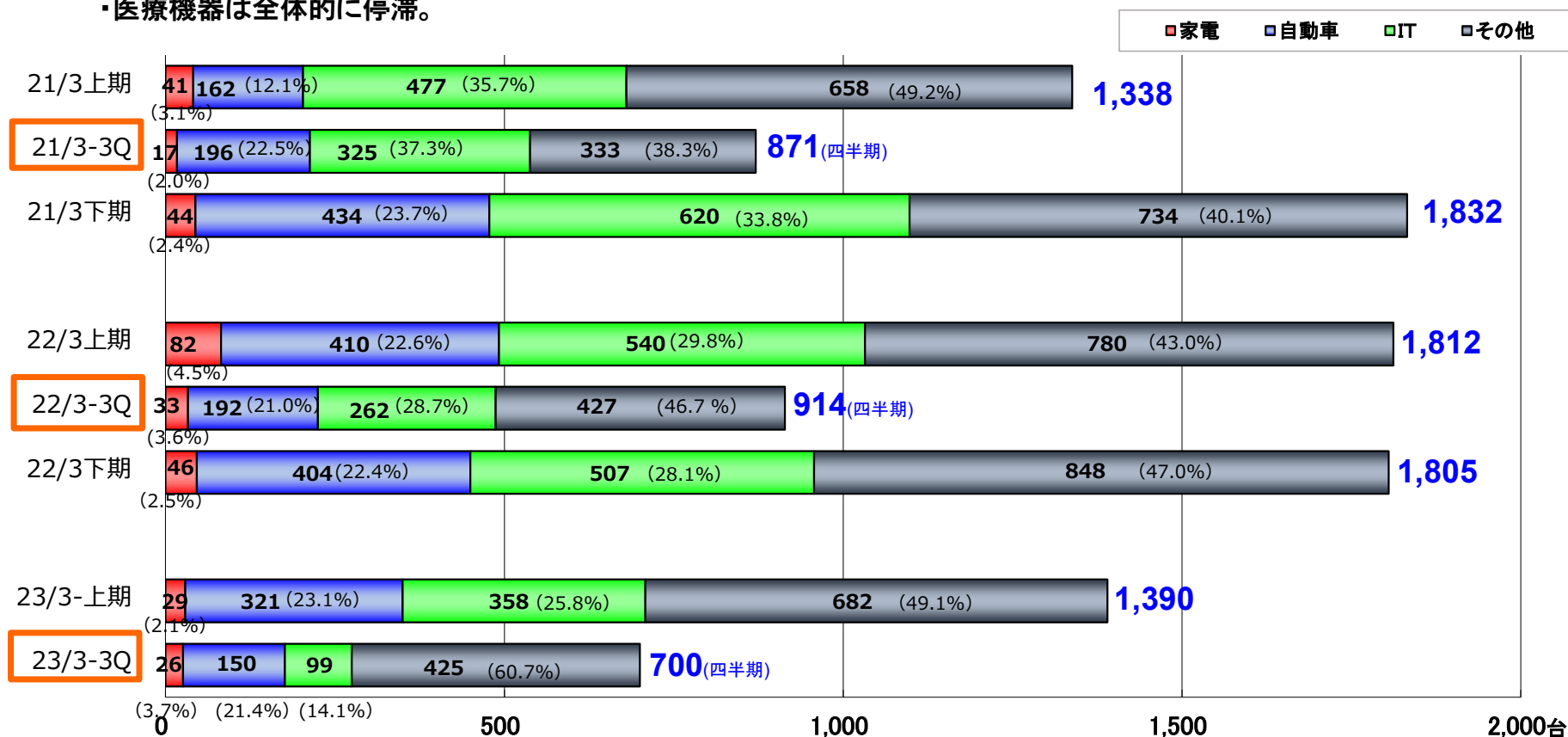
- ▶家電…海外減少
- ▶自動車…国内若干停滞・海外横ばい
- ▶IT…東アジア中心に大きく減少
- ▶医療機器…国内横ばい、海外減少



射出成形機の受注推移

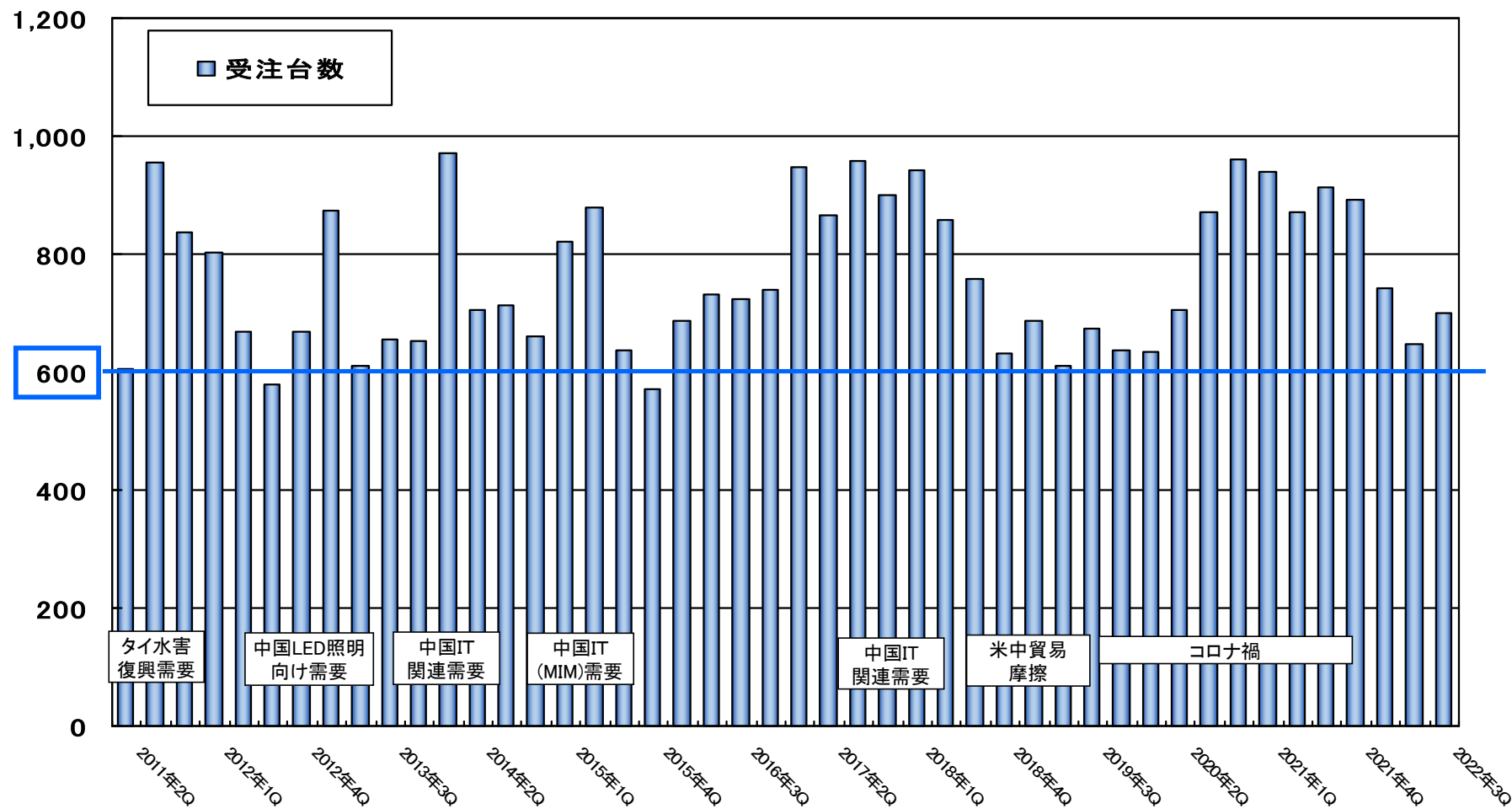
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・23/3期3Qの受注台数は2,090台。前年同期比23.3%減。
- ・自動車は台数ベースでは22/3 3Qに比べ約20%減。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に停滞。
- ・医療機器は全体的に停滞。



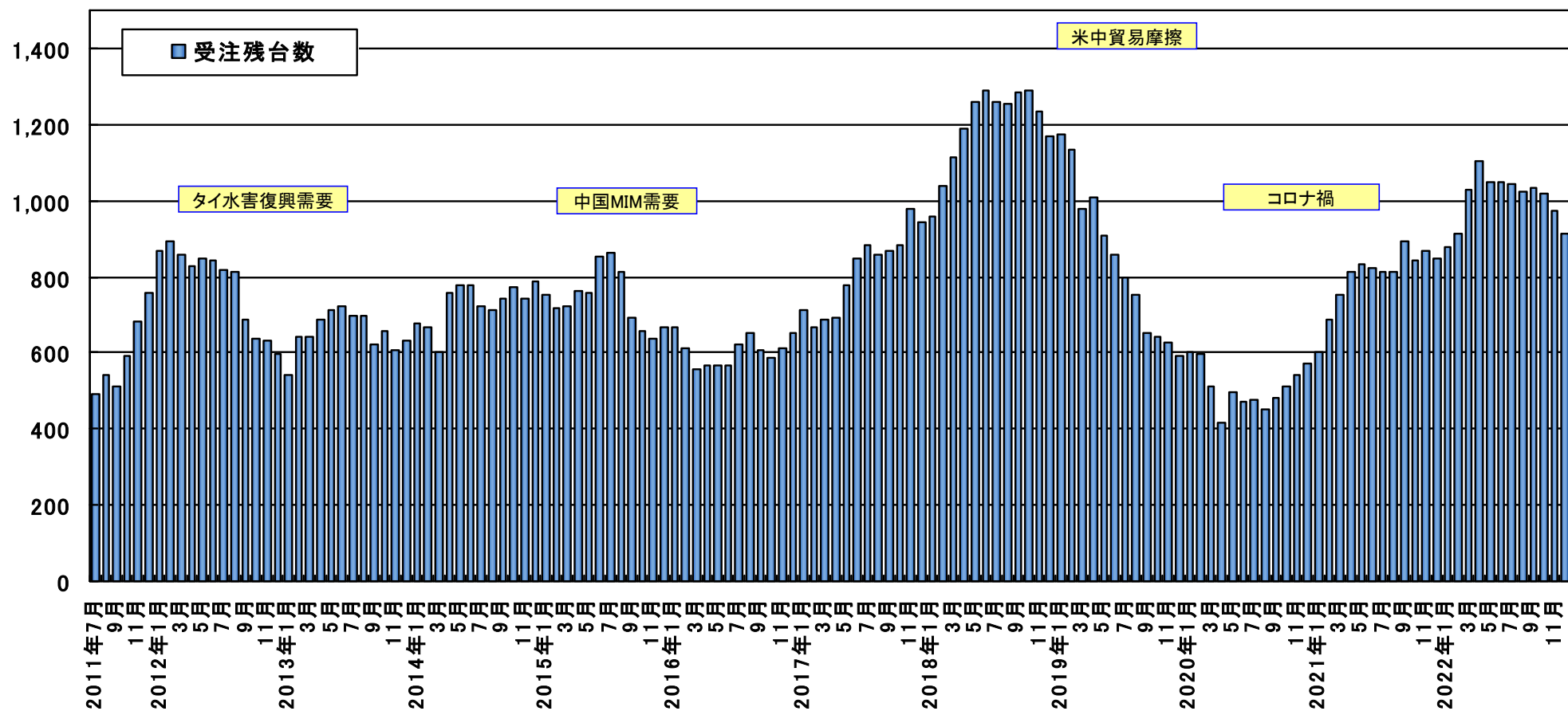
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

2020年8月頃より月度受注300台前後の水準だったが、2022年に入りやや停滞し月度受注200台強で推移。
受注単価が上昇しているため受注額の減少幅はそれほど大きくない。



射出成形機の月別受注残台数推移(当社)

新型コロナの影響により減速したが、2020年8月頃を境に増加に転じている。
国内外で自動車関連の需要を中心に積み上がった受注残が徐々に出荷され、足元では受注残台数、金額とも漸減。

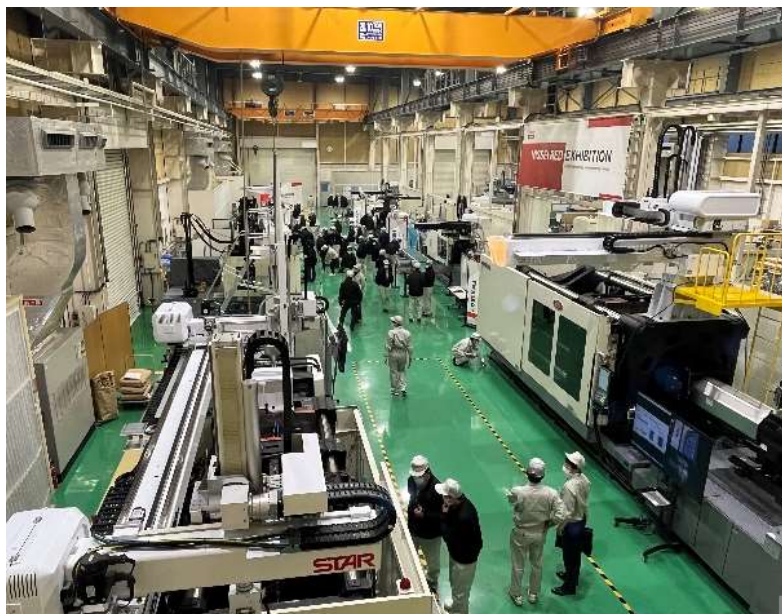


トピックス

展示会情報

本社プライベートフェアを開催 2022.12.6-.12.10

“Inclusive Growth” をテーマに、環境対応素材の利用技術をはじめ、省資源・省エネ・省スペース・省人化(自動化)といった“省”の技術など、「環境」視点に立ちつつモノづくり現場の高度化にもつながる各種ソリューション技術を提案しました。



Demo: **PLA カトラリー**
Material : 木粉コンポジットPLA
Model: **FNX180III-36A**



Demo : **くし**
Material : **PHBV**
Model : **NEX80V-9E**



Demo : **PLA ボトル**
Material : **PLA**
Model : **NEX180V-36E**

2023年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2023年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2022/3期	2023/3期		対通期計画 進捗率%
	実績	3Q実績	通期計画 (2022.5.13開示)	
売上高	48,731	37,945	51,000	74.4%
営業利益	2,577	2,054	3,000	68.5%
(利益率)	5.3	5.4	5.9	—
経常利益	2,940	1,971	3,100	63.6%
(利益率)	6.0	5.2	6.1	—
当期純利益	2,680	1,444	1,900	76.0%
(利益率)	5.5	3.8	3.7	—

連結設備投資・研究開発 3Q実績

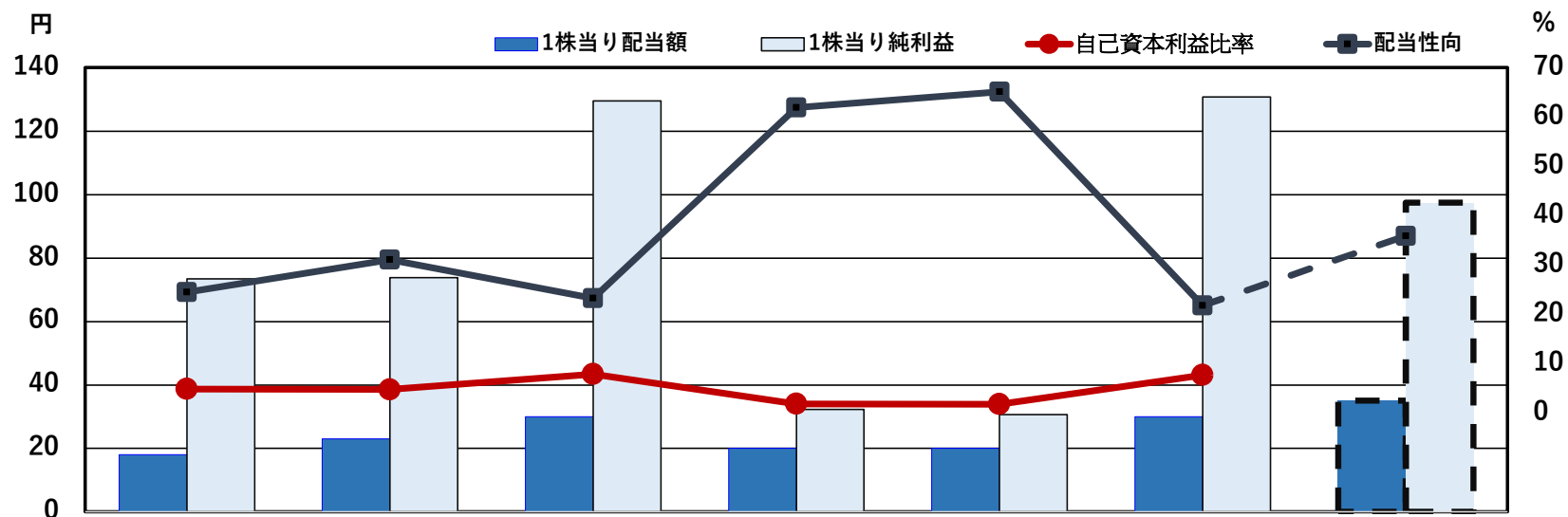
単位：百万円

	2023年3月期 3Q実績	
主な設備等	本社	
	ファイルサーバー更新(ソフトウェア)	8
	調達システム改造他(ソフトウェア)	6
	工場塗装ブース、給排気フィルタ設置等	9
	米国工場増築(手付金 建設仮勘定)	641
	メタルワークス 第2工場屋上防水工事	16
	ホンマ設置、五面加工機レトロフィット追加工事	138
	ホンマ工場再編、クレーン設置、工場照明LED化等	77
その他、維持投資等	212	
設備投資総額		1,130
減価償却費		1,056
研究開発費		326

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2023年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間20.00円(普通配当15円・記念配当5円含む)、期末15.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期(予)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	97.42円(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	35.9%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	—



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
